

ごあいさつ

日頃から、私どもNTTグループの環境保護推進活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

現代はIT革命の言葉に象徴されるように、社会や産業の構造が変わりつつあります。特に情報流通産業の市場環境の変化は予想を遥かに上回るスピードで進展しています。移动通信加入数の急増やインターネットの普及は目を見張るものがあります。私どもNTTグループはIPをベースとする無線系・有線系を合わせたサービス・ネットワークの高速化・低廉化・多様化を通じて経済や社会の変革に積極的に貢献していきます。

IT革命を考えると、地球環境の面から考えると二つの側面があります。一つは、環境負荷が発生するという事です。ITを利用するにはネットワークやサーバ、端末などに使用されるエネルギーや資源が必要になります。もう一つは社会全体の環境負荷を大きく下げることが期待できるという事です。ITを活用することにより流通や生産活動などを効率的に行い総合的なエネルギーや資源の使用量を抑制できます。また、環境情報を流通させることで、環境教育や、啓発活動などを通じて、環境に関する共通認識を持つことができます。環境問題を解決するには皆が共通の認識を持つことが重要であります。情報流通グループとして環境情報の流通に貢献するのは、ビジネスだけでなく社会的責務でもありと考えています。

NTTグループではこの地球環境問題にグループ会社一丸となって積極的に取り組んでまいりました。1991年にNTT地球環境憲章を制定し、紙資源対策やCO₂対策などに取り組んできました。そして1999年7月の再編を機に、環境保護推進に関する基本コンセプトであるNTTグループ・エコロジー・プログラム21を制定しました。ここではNTTグループ地球環境憲章とグループ全体の行動計画目標、地域での活動を重視したNTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザの設置、情報流通グループとして最先端の環境に関する研究開発を掲げています。

NTTグループは事業遂行上、大量の紙やエネルギーを使用しており、廃棄物も発生しています。これらに関しては行動計画目標を設定して対策に取り組んでいます。また事業再編により、NTTは持株会社と、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズに分かれ、お客様により近い距離でサービスをご提供できる体制を整えさせていただきました。NTT東日本岩手支店やNTT西日本滋賀支店ではエコロジー・コミュニティ・プラザを設置し、地域の皆様と一緒に環境保護推進活動を行っています。また、各グループ会社においても、それぞれの分野でITの活用により環境負荷低減の活動を展開しております。特に私どもでは、環境技術の研究・開発を強力に推し進めるべく、生活環境研究所と通信エネルギー研究所の二つの研究所を再編に先立ち設置いたしました。

本報告書では、このような取り組みについて、1999年度の活動を中心に取りまとめてご報告を行うものです。本報告をご覧いただきまして、私どもの活動へのご理解をいただきますとともに、ご意見・ご批判などもいただければ幸いに存じます。

日本電信電話株式会社

代表取締役社長

宮津 純一郎

